

あさひ西方見聞録

題字：旭中学校 笈 茉那

Vol. 18



ごあいさつ

旭西部まちづくり推進会議

会長 甲藤 浩之

令和7年度の年間スケジュールも無事に終わることができ、安堵するとともに各行事にご支援・ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。役員一同、微力ではありましたが、この地域のために少しでもお役に立てたのであれば幸いに存じます。

引き続き本年度も、これまでと変わらず各種行事を実施する予定です。併せて、新たな仲間作りにも取り組んでいきたいと考えております。現在、活動を担う人材が不足している状況ですので、是非地域で一緒に活動していただける方のご参加をお待ちしています。

これからもこれまでの活動を絶やすことなく次の世代に引き継いでいき、より安全で安心して住めるまちづくりを目指し、町内会・自治会・防災会をはじめとした各種団体や市と共に楽しく取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今号の主な内容

- 1P ごあいさつ
- 2P 高ノ森の桜の手入れ
- 3P 第42回あさひ納涼祭
- 4～5P 第18回学ぼう災
- 6～9P 学校だより（横内小学校、旭小学校、旭中学校、高知商業高等学校）
- 10～11P 保育園・幼稚園から（塚ノ原保育園、もみのき幼稚園・めだか園）
- 12～15P 活動団体紹介（旭小青少協、横内小青少協
こども食堂とりごえ、あさひのこどもを守る会）・地域内連携協議会について
- 16P 塚ノ原駐在所

高ノ森の桜の手入れ

平成16年にスタートしました高ノ森の桜の手入れは、令和7年度も6月1日（日）と12月7日（日）の2回、会員である地域住民、旭中学校の生徒、横内小校区青少協及び地域内の福祉施設等の皆様方の協力により実施することができました。

この桜の手入れは、高ノ森の沿道に植栽された桜の木の周辺の枝葉や下草を、草刈機や、鎌による手作業で刈り取っていく作業になります。

2回目の作業は、例年より少し遅い12月の実施となりましたが、天候にも恵まれ、また、旭中学校から50名ほどの生徒の参加もあり、参加者全員の精力的な活動で迅速に作業を終えることができました。

閉会行事の中で、参加した中学生に「満開のときの高ノ森の桜を見たことがありますか」と尋ねると、「見たことがない」と答える生徒が多くいました。今春にはぜひ、自分たちが手入れをした桜が満開の花を咲かせる姿を、地域の皆様とともに見てほしいと思います。

＜旭中学校 岡本 伸浩＞

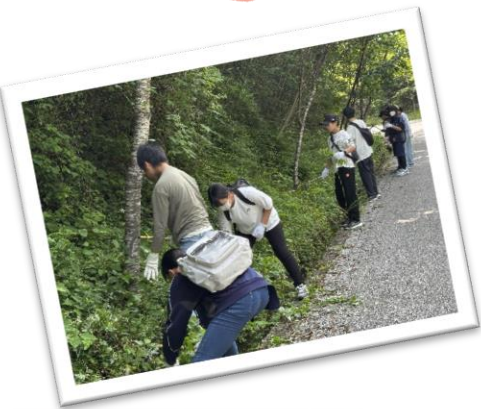
旭中学校3年 大前 陽菱

高ノ森の桜の手入れのボランティア活動に参加し、桜の木の周りの雑草を刈り取ったりしました。僕はこの活動に参加して、自然を管理することの大変さを、身をもって知ることになりましたが、この体験を経て、やり切ったときの達成感や自然を慈しむ心を手に入れることができました。今後も様々なものを感じ、学ぶためにも、ボランティア活動に参加していこうと思います。



旭中学校2年 弘松 環奈

主な活動内容は、桜の周りの清掃や草抜きでした。最初は「大変そうだな」と思いましたが、実際にやってみると、地域の人と協力しながら作業することができ、とても貴重な体験になりました。作業中、地域の方から「ありがとう」「きれいになると気持ちがいいね」と声をかけていただき、自分たちの行動が誰かの役に立っていることを実感しました。また、普段何気なく見ている桜が、多くの人の手によって守られていることも知りました。今回のボランティアを通して、地域のために行動することの大切さを学びました。これからも学校の中だけでなく、地域の一員として積極的に活動していきたいです。



キレイになりました♪



第42回あさひ納涼祭

令和7年度の「第42回あさひ納涼祭」は、残暑の残る8月30日（土）に、横内小学校の西方に位置する塚ノ原2号公園で盛大に開催されました。

今年も、多くの団体が協力してこのお祭りを支えました。主催は「あさひ納涼祭実行委員会」と「旭地区町内会連合会」、共催は19町内会と高知商業高校・旭中学校の各生徒会、協力団体としては11団体が参加しました。また、出店は塚ノ原町内会、旭北町町内会、旭中学校生徒会、もみのき幼稚園、NPO法人絆、横内青少年育成協議会の6団体が担当しました。

当日は、晴天に恵まれ、16時30分からオープニングがスタート。まず、もみのき幼稚園と「あさひはっぴいばいす」の子どもたちによる元気なパフォーマンスが会場を賑やかにし、続いて「よさこい踊り」が華やかに演出されました。その後、高知商業高校ダンス部とベリーダンスARU Bellyの華麗な演舞が、祭りの盛り上がりを一層引き立ててくれました。

さらに、塚ノ原町内会有志による民謡や、2回のジャンケン大会、そして参加者の皆さんが楽しみにしているお楽しみ抽選会など、数多くの催し物がお祭りの雰囲気大いに盛り上げ、笑顔あふれる中で20時に無事エンディングを迎える事が出来ました。

この納涼祭には、20団体もの協賛スポンサー様にご支援をいただいております。これらの貴重な運営費は、会場内で使用できる無料券や抽選会の景品などに使わせて頂いております。毎年、来場者の皆さんに大変好評をいただいております。この場を借りて、協賛スポンサーの皆様へ心から感謝申し上げます。

最後になりましたが、納涼祭に関わっていただいたすべての方々にお礼を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

＜旭西部まちづくり推進会議 会長 甲藤 浩之＞



第18回学ぼう災

第18回学ぼう災 ～旭西部地域防災フェア～

令和7年11月16日（日）旭中学校で第18回学ぼう災「旭西部地域防災フェア」を実施しました。今回は、避難所開設訓練をベースに新たな訓練を取り入れました。訓練内容は、安全確認、避難者受入れ、居住受付、けむり体験、水消火器体験、起震車体験に加え、今回新しく設置された水浄化装置の実演やマンホールトイレの組み立て体験を行いました。継続して実施している訓練は今までの課題を反映し、より運営しやすいように検証もかねて行いました。水浄化装置は、旭中学校に常時設置することができるようになりました。プールから水を引き込み浄化装置を通してきれいな飲み水が蛇口から出てくるまでの浄化する仕組みや設置方法を学びました。マンホールトイレも新しく設置することができた設備で保管場所から運び出し組み立てまでを体験しました。皆で協力しながら組み立てる必要があり、説明書はありますが一度組み立てないと分からないとの声も多く、たくさんの方が組み立て体験を行う必要があると感じました。また、パトカーや消防車の展示、高知市地域防災推進課の方から被災時のトイレについての説明など災害発生時の状況がイメージできるような学びがありました。

今回も旭中学校3年生が訓練の体験やスタッフとして参加してくれました。生徒たちは数人のグループに分かれ、それぞれの体験ブースを順番に回り全ての訓練を体験しました。このような訓練を通して防災活動や災害時の対応について日常的に意識してもらおう契機となったと思います。

全体の催しとして、災害備蓄品の無料配布や子どもたちには訓練体験ビンゴゲームを楽しみながら回ってもらい達成したらお菓子をプレゼントするコーナーを作りました。訓練終了後は餅・お菓子投げを行い、たくさんのお子どもたちに参加してもらうことができました。

当日は天気も良く多くの方に参加いただきました。今回も各団体の皆様にご協力いただき心より感謝申し上げます。後日集約した振り返りでは、良かったとの感想が多い中、ブースごとに改善や見直しなど貴重な意見もいただきました。次回の訓練に向けてこれらの意見を反映していきたいと思っておりますので今後も引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

<第18回学ぼう災実行委員会 大久保 光洋>



防災について楽しく
学ぶことができました！





旭西部防災連合会が 知事表彰を受賞しました！

令和8年2月9日（月）三翠園において、高知県南海トラフ地震対策優良団体として、高知県知事から認定証を交付されました。

防災訓練への取り組みは、2004年から「遊ぼう災」としてスタートし、その後訓練内容も充実し「学ぼう災」として毎年11月第3日曜日に、旭中学校と連携して活動し、今年度で18回開催してきました。その間、コロナ感染症拡大により中断もありましたが、地域内防災連合会・町内会・自治会のご協力ご理解により継続して開催できましたこと大変うれしく思います。

南海地震の発生率も高くなっておりまますことから、地域防災力向上のため今後も活動を推進していきますので、より一層のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

<旭西部防災連合会 会長 長尾 達雄>



引き続き
頑張ります！



定例会でお披露目



授賞式には、天野さんが出席し
表彰状を受け取りました。

学校だより

地域内の4つの小・中・高等学校(横内小・旭小・旭中・高知商業高校)での取り組みを紹介します。



横内小学校

地域とともに育つ横内の子どもたち

横内小学校では、地域の皆様や関係機関のご協力をいただきながら、子どもたちが安心して学び地域とのつながりの中で成長できるよう取組を行っています。その一部をご紹介します。

保幼一日体験入学（1月30日）

小学校入学を控えた園児が学校の様子を見学し、入学への楽しみや期待をもてるよう、保幼一日体験入学を実施しました。あわせて、1年生にとっても、これまでの学びを生かして園児を迎えることで、上の学年になる喜びや自信を感じる機会となることをねらいとしています。当日は、来年度本校に入学予定の園児約90名が来校しました。体育館では、1年生が学校の様子を紹介し、一緒に歌やダンスを楽しみました。その後は教室に移動し、1年生と一緒に授業体験を行いました。1年生が心を込めて作ったプレゼントを園児に渡し、温かな交流の時間となりました。園児にとっては小学校生活への安心感や期待が高まり、1年生にとっても園児に優しく声をかけたり、学校のことを伝えたりする中で、思いやりの気持ちや自信を育む機会となりました。



交通安全教室（2月20日）

高知警察署や交通安全協会高知支部、高知市校区交通安全会議、高知市くらし・交通安全課など関係機関の皆様のご協力のもと、交通安全教室を実施しました。体育館には、塚ノ原保育園・もみのき幼稚園の年長さんと本校1年生が集まり、グループに分かれて活動しました。警察音楽隊の演奏も楽しみながら、横断歩道の安全な渡り方などを体験的に学びました。地域の方々にも見守りにご協力いただき、交通安全の大切さを学ぶ機会となりました。



昔遊び体験（3月3日）

青少協、民生委員・児童委員の皆様にご協力いただき、1年生を対象に昔遊び体験を実施いたしました。1年生の各教室を会場に、こま、けん玉、お手玉、ゴム跳び、羽根つき、坊主めくり、おはじき・あやとりなどの昔遊びを教えていただきました。地域の皆様に遊び方を教えていただきながら、子どもたちは実際に昔遊びを体験しました。夢中になって遊びに取り組み、教室には子どもたちの生き生きとした笑顔が広がりました。



地域や関係機関の皆様のご協力のもと、子どもたちは多くの学びや体験を重ねています。温かいご支援に心より感謝申し上げます。



旭小だより

豊かな自然環境と暮らしについて学ぶ 森林環境学習

旭小学校では、「① 身近にある豊かな自然とその働きを知り、ふるさとを愛する気持ちを育む。② 地域にある樹木や森林と自分たちの暮らしの関わりに気付く、自然を大切に、自然を活かしながらともに生きていこうとする心情を育てる。」という目標のもと、森林環境教育に取り組んでいます。今回は、その学習の様子と子どもたちの感想をご紹介します。各学年の年間の活動の一部です。

【1年 牧野植物園での学習プログラム】



・おじぎそうを触ったら、葉っぱがとじたのですごく良かったです。
・空とぶタネを作って飛ばしてみても、高く飛んでうれしかったです。

【2年 のいち動物公園で動物の生態学習、芋ほり体験】



・ビーバーの家族は巣を作るために木が必要だから山を守らないといけないと思った。
・ビーバーのえさには、りんごや小松菜などのいろいろな種類があるから、食べ物食べられるようにしたいと思った。
・ビーバーは家族で暮らしているから、ほかの動物から身を守るためにも木で作ったダムや巣が必要だと分かった。

・さつまいの苗を植えて楽しかった。地域の人と一緒に活動できてよかった。
・さつまいも掘りでは、さつまいもを傷つけないように、スコップや手で上手にやさしく掘ることができた。友だちや地域の人が手伝ってくれてよかった。

【3年 森林研修センターでの森林学習】



・高知県は、森林率が84%もあるのですごいと思った。
・木によって全然においがちがっておもしろかった。
・広葉樹と針葉樹のちがいが知れた。
・思ったより金づちを打つとき力が必要だったが上手にできてよかった。
・アスレチックで思いっきり遊べて気持ちがよかった。

【4年 木工造形学習 紙の博物館】

・のこぎりで木を切ると、意外に堅くてびっくりしました。
・木を使って、工作をするのがとても楽しかったです。
・身の回りのものも木でできているものがたくさんあると思いました。



・和紙の原料がコウゾやミツマタという植物ということを知った。
・白いドロドロしたものから和紙ができることを知って驚いた。
・原料もいの町で育てていることを社会科でも勉強した。どんなところで育てているのだろうと思った。
・伝統を守る職人さんの苦労やすごさが分かった。
・自然が豊かだから原料が豊富で土佐和紙がさかんに作られたことが分かった。

【5年 森林研修センター情報交流館での森林学習】

・森林は無くしてはならない存在だと知りました。土砂災害を防止したり地球温暖化を防止したりと様々なところで活躍してくれています。初めて知って驚きました。
・森にもぐらがいることやイノシシの足跡があるとか、山の豆知識がたくさん聞けて楽しかった。
・山でたくさん遊ぶことは初めてだったので、驚きがたくさんありました。



【6年 森林学習と木工クラフト体験】



・木の種類によって鉛筆になったり、柱等に使われたりしていることが分かった。
・高知市で有名な木や鳥が何なのか、高知市に住んでいるのに意外と知らないことが分かって良かった。
・作ったプランターは苦労もしたが、できてうれしかった。
・年輪も味があり、木の温かみを感じた。部屋に飾って大切にしていきたい。

校外での活動では、自然の中で思いっきり体を動かし、自然の心地よさを味わうことができました。また、実際にやってみることで、教科書には書かれていないことを知るとともに、講師の方からの講話で、専門的なことや先人の知恵、自然への気遣いなども教わることができました。

この森林環境学習から、身近な自然が自分たちの暮らしに大きく関わっていることに気付く、動物や植物、川や森林などを大切にしようという気持ちを育むことができました。



旭中学校

11/16(日)「防災参観日」を行いました

旭中学校では、本校を会場にして開催される「旭西部防災会連合会主催の『学ぼう災』」が行われる日を「防災参観日」とし、保護者とともに防災を考える機会を設けています。今年は、午前中に参観授業を行い、午後はPTA主催の「防災講演会」を実施しました。

午前中、3年生は8つのグループに分かれ、地域の方と一緒に「学ぼう災」に参加をしました。2年生は修学旅行で学んだ「防災学習」についての発表会、1年生は学年発表会（学級で調べたことを発表した後学級代表を決めました）の後、防災に関するポスターづくりを行い、昼食は防災食「青菜ごはん」を食べました。

3年生の「学ぼう災」での体験では、南海トラフ地震発生の危険と隣り合わせの生活を送っていることを実感することができ、「正しい知識で、判断し、行動できる」ことの大切さや、自分自身が地域の担い手として「何ができるのか」など深く考える機会となりました。地域の方々に沢山声をかけていただき、褒めていただいた経験は宝物となりました。

準備段階から何度も学校に打ち合わせに来てくださった天野さん、山内さん、丁寧にご説明いただいた各ブースのスタッフの皆さん、共に活動してくださった地域の皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。

【3年生の感想（一部抜粋）】

* 初めて受付をしてみても一番難しいと感じたことは、相手の年齢に合わせて対応を変えないといけないことでした。難しい言葉などを避けて一つ一つ丁寧に説明することが大切だと気づきました。起震車体験は過去にも何度か体験をしたことがありますが、「これが家にいるとき、外にいるときに起こったらどうしよう。物も飛んでくるし動きたいように動けなくて怖い」と感じました。

* 私は共助するためには先ず自助が大切だと分かりました。自分のことができていなければ他の人を助けることは無理だと知りました。他にも学校内や近くの安全な場所や危険な場所を探しました。例えばコンクリートの柱やコンクリート製のものが危ないことも分かりました。災害時にはその知識を活用していきたいと思います。



【PTA主催『防災講演会』】

参加した保護者の方が講演後「長田先生のお話は、心に大きく響きました。保護者として何ができるのか、考えることができました。」と伝えてくださいました。

また、教員からは、「生徒たちが食い入るように聞いていたので良かったです。災害に対する無力感を味わっている生徒、それでも立ち上がること、自分にできることがないか考えている生徒など、体験談を聞いて学んでいる姿を見ることができました。」「ワークシートの記述をみると、生徒はリアルな話を聞いて、こちらが思っている以上に心に響いたり残ったりしている感じが感じられました。」「生徒の心に響いたようです。『学校で習ったことは困ったときに自分を助けてくれる』という言葉が印象に残っている生徒が多かったです。」などの感想がありました。今回の学びをこれからの防災学習とつなげて子どもたちの生きる力を育てていきたいと考えています。



旭中学校 PTA 主催 「防災講演会」

【日 時】 令和7年11月16日(日)13:00~14:30

【旭中学校「防災参観日」】

【旭西部地域防災訓練「学ぼう災」】

【場 所】 高知市立旭中学校 体育館

【参加対象】 旭中学校生徒・教職員

保護者、地域のみなさん、教育関係者

【講 師】

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官
国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター 客員研究員
東北福祉大学 教育学部 教育学科 教授

長田 徹(おさだ とおる)さん

【演 題】「東日本大震災から学ぶ」

【略歴】

宮城県・仙台市立公立学校教諭、仙台市教育委員会学校教育指導課指導主事、同様な学力育成指導主事として学力向上、キャリア教育を担当。文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導調査官、国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター 総括研究官などを経て、2023年4月より現職。専門はキャリア教育(進路指導)、特別活動、カリキュラム・マネジメント等。



ぜひ、お話しを聞かせたいとき、ご参加ください。
「大切な人、命を守る」防災学習を
子どもたちと一緒に学びましょう！





高知商業高等学校

本校社会マネジメント科地域実践コースは、サンブラザ塚ノ原店様と連携し、地域課題の解決に向けた共同商品開発を行いました。生産量は全国トップクラスでありながら県内の子どもたちの苦手な野菜ランキング上位にランクインしている「なす」や「ピーマン」に着目した商品開発や、若者の朝食離れという課題を踏まえた、手軽に食べられるサンドイッチの開発に挑戦しました。また、高知の食文化の活性化と隠れた特産品の魅力を伝えることを目的に、「土佐の愛菜弁当」の開発にも取り組みました。

さらに、健康カフェとりごえでのアンケート調査やボランティア活動を通して、地域の声に耳を傾ける大切さや、人とのつながりが地域を支えていることを学ばせていただきました。併せて今年度の活動によって得られた売上の一部を寄付させていただきました。地域と連携し、学びながら高知の光を伝える活動を通し、今後も高知の未来を支える人材へと成長していきます！



本校の情報マネジメント科3年生6名が、必ず起きるといわれている南海トラフ巨大地震に備え「地域の子もたちを楽しみながら防災意識を高めてもらいたい」というテーマの下、旭地区の塚ノ原保育園（11月12日）とポッポ保育園（11月28日）に訪問し、防災教育を実施いたしました。

自作の紙芝居や動画を園児たちに見せながら、防災クイズやペットボトルランタンの紹介などを盛り込み、楽しく実施することができました。

ご協力いただきました塚ノ原保育園とポッポ保育園の園長先生をはじめ関係者や園児のみなさま、本当にありがとうございました。



保育園&幼稚園から



塚ノ原保育園

塚ノ原保育園では、10月に芋掘りをしました。

今年は幼児組だけでなく、乳児組のお友だちも一緒に楽しみました。

5月に苗を植え、時々畑を見に行き関連する絵本を読んだりし、成長の様子や収穫への期待と興味を膨らませながら楽しんで待ちました。

芋掘り当日、スコップや手で土を掘り起こし、前日の雨で土が固まっていたため「かたーい」「ほれなーい」と言いながら苦戦しつつも、芋の頭が見えると「あった！」とあちこちで嬉しい悲鳴がきこえ、大小様々な形のお芋に驚きながら収穫の喜びを味わうことができました。芋だけでなく土の中の虫も見つたりしながら、秋の自然を存分に感じることができました。

収穫したお芋を家庭に持って帰り「お母さんがお味噌汁に入れてくれた」と喜んで話してくれる子どももいました。

芋掘りは土の感触を感じながら自然に触れ、また食物がどのように育ち、私たちの食卓に届くのかを知るよい機会にもなりました。

これからも、行事を通していろいろな経験をしていきたいと思います。 <保育士 徳弘 牧子>

芋掘りの様子



たくさんお芋が取れたよ♪

もみのき幼稚園 めだか園

2月3日の節分行事に、「居酒屋 室戸屋ジロー」さんの協力のもと、年長児28名が長い恵方巻を作りました。初めての挑戦のため、巻きすやテーブルは何個あれば皆が並べるのか、どんな掛け声にすれば皆で一斉に巻くことができるかなど本番までに2回のリハーサルを行いました。

当日はうまくいくかなとドキドキワクワクの子どもたち。きゅうり、サーモン、かんぴょうなどの具材を自分たちでならべ、「せ～の！よいしょ～！」とみんなの掛け声とともに海苔を巻きました。

出来上がった恵方巻は、なんと8.1メートル！！皆で持ち上げ、「重た～い」「すご～い」と歓喜の声が上がっていました。

子どもたちは自分たちが作った恵方巻を切って、一人ひとり南南東を向いて喋らずに食べました。皆で力を合わせて取り組むことができました。

恵方巻づくりの後は、豆まきです。今年はボランティアの方に鬼役をお願いしました。たくさん豆をまいて、病気や災いを追い払いました。子どもたちが健康で幸せに過ごせますように。

<もみのき幼稚園 副園長 由比 真美>

恵方巻作り



旭小 青少年育成協議会

きららフェスティバル

きららのお店、野菜など値上がりし、主婦にとっては頭の痛いところ。少しでも安い物が無いか考えました。カレーの材料（肉・カレー粉なし）、じゃが芋、玉ねぎ、人参、果物、キュウリなど仕入れ売りました。当日、お母さん、小学生たくさん買っていただきました。でも商売は大変です。

災害時トイレ体験を行いました。

災害が起きた時、まず困るのはトイレの問題だと思います。段ボールで作った簡易トイレを作り、水を流せないトイレの悪臭源をすばやく凝固剤を使って消臭をする作り方を教えました。今回は尿だけすばやく固めて消臭します（尿の代わりに水を使用）。ゼリー状に固まるので簡単に捨てられます。可燃ごみとして処分できます。

（使用方法）

ビニール袋をセットし、スプーン1杯分の凝固剤を振りかけます。水が固まってきたらビニール袋の口を縛り処分します。一家に1個簡易トイレを用意してみてもいいかでしょう。



1年生とむかしあそび

旭小学校1年生・老人クラブ・旭校区青少年育成協議会の方々とむかしあそびを楽しみました。しばきごま・木ごま・けん玉・お手玉・あやとり・坊主めくり。1年生全員で全ての遊びに挑戦です。木ごまの紐を巻くのに苦戦、お手玉はボールを投げたりで、最近の手遊びはゲームかな？と思いました。一番盛り上がっていたのは、坊主めくり。百人一首の絵の方を使って遊びます。たくさん札を持っていても坊主が出ると取り上げられ、札は全部没収。手元に札をたくさん持っている人が勝ちというゲーム。覚えると簡単で輪になって盛り上がっていました。私たちは少しでも、昔遊んでいた物に興味を持ってもらえたらいいなと思っています。

<旭小学校区青少年育成協議会 代表推進委員 会長 市川>



青少年育成協議会

横内小

私たち横内青少協（横内校区青少年育成協議会）は、地域における青少年の健全育成および高知市青少年育成協議会と連携した事業を推進するための活動をしています。

皆さんからは、「青少協（せいしょうきょう）」と呼んでいただいています。

今回は、昨年の活動内容の紹介をさせていただきます。

柏島親子シュノーケリング体験（主催事業）、Aブロック共同事業（高知市西部地区の9小学校区の共催事業で昨年は朝倉小学校区主催で「みんなで楽しい遊びに挑戦しよう」）、しめ縄づくりと餅つき大会（旭小・旭東小・横内小3校区の主催事業）、高知龍馬マラソンコース管理員（支援事業）、地元観光スポット親子バスツアー（主催事業）などの活動を行いました。

また上記のほか、小・中学校主体で行われる行事（冬まつりや昔あそび体験授業、文化祭・学ぼう災等）や、各地域団体主催による行事（あさひ納涼祭や敬老会、横内小学校区運動会等）にもスタッフとして会員が積極的に参加し、日頃からの連携、相互交流を深めています。

本年度も、横内青少協は子どもたちの健全育成のために積極的に支援活動を行うとともに、校区内での地域団体の繋がりもあわせて行い地域活性化に皆さんとともに取り組んでいきます。

<横内小学校区青少年育成協議会 代表推進委員 会長 大久保 光洋>



龍馬マラソンの応援
に参加してきました♪



誰でも自由に利用できます！(中学生以下無料)

こども食堂とりごえ

食堂の運営は、高齢者のボランティア（調理担当10名程度・食器洗い等後片付け約3名程度・不定期で高知商業高校生等が受付・後片付けなど）がワイワイ楽しく食べながら参加してくれています。

食堂利用者が増加傾向にあることから、特に食器洗いスタッフが不足しています。短時間でも結構ですので、ご支援いただければ幸いです。
＜こども食堂とりごえ実行委員会 会長 天野 守章＞

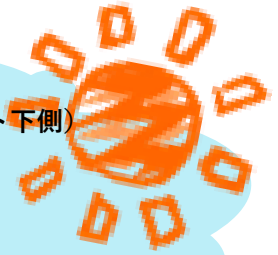
～令和8年度の取組み～

場 所 健康カフェとりごえ 高知市鳥越1-1（高知商業高校野球場バックネット下側）

日 時 毎月2回（第1・3月曜日） 17時～19時 ※祝祭日はお休み

内 容 食堂形式（バイキング）

負 担 こども無料、高校生以上は200円（協力金）をいただいております。



ボランティアの募集

調理担当: 時間帯(13時～16時)の内参加できる時間帯

その他担当: 時間帯(17時～19時)の内参加できる時間帯

問合せ 健康カフェとりごえ 担当 竹中(TEL 088-856-6470)

あさひのこどもを守る会

取り組んでいます!



- 横内小児童を全登校日の主要横断道路での安全誘導
- 全登校日（晴天時）に青パトによる見守り活動・・・etc



<あさひのこどもを守る会 会長 長尾 達雄>

旭西部まちづくり推進会議では、「地域内連携協議会」の設立に向けて取り組んでいます!



《地域内連携協議会とは?》

おおむね小学校区を範囲、地域内で活動する個人・団体・事業者などがゆるやかにつながり、地域内の現状や課題を共有するとともに、課題の解決に向けて地域内でお互いに連携・協力していくための、「地域連携のプラットフォーム（基盤）」となる組織です。

<地域内連携協議会のイメージ>

1. 活動範囲は概ね「小学校区」
2. 地域の各種団体で構成（ゆるやかな連携）



地域内連携協議会の役割

① 情報共有

各種団体の取組・課題等の情報共有

② 相互協力

各種団体の連携による負担軽減

③ 課題把握・検討

課題の把握・検討による地域の活性化



持続可能なまちづくりを目指します!

塚ノ原駐在所

詐欺には注意!

住民の皆様には平素より高知警察署、塚ノ原駐在所へのご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

当駐在所では、子どもの安全を守るため、朝夕の通学時間での街頭指導や、駐在パトカーの赤色灯を点滅させた通学路のパトロールを実施しています。

また、被害が増加している『SNS投資詐欺・架空請求詐欺・サポート詐欺』等に加え、次々と新たな手口が増加する特殊詐欺の被害防止対策として、巡回連絡の際にお年寄りに対して最新の手口を紹介して注意喚起を行い、被害の防止に努めています。

塚ノ原駐在所では、今後も子どもやお年寄りが安心して暮らせる、安全で安心なまちづくりを推進していく所存ですので、住民の皆様にはご協力とご意見をお願いします。
 <塚ノ原駐在所>



旭西部まちづくり推進会議
令和7年度の活動

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
定例会	定例会	定例会	高ノ森の桜の手入れ 交流会	第18回学ぼう災(旭中学校) 定例会	定例会	あさひ納涼祭交流会	あさひ納涼祭 定例会	定例会	高ノ森の桜の手入れ あさひ西方見聞録 Vol.17 発行 定例会	総会(交流会)	定例会

旭西部まちづくり推進会議

仲間募集中

旭西部まちづくり推進会議では、学ぼう災(防災訓練)、あさひ納涼祭、桜の手入れなどの運営スタッフを募集しています。興味のある方は、高知市地域コミュニティ推進課までお気軽にお問い合わせください!!

あさひ西方見聞録 Vol.18

2026年(令和8年)4月発行

編集: 旭西部まちづくり推進会議

発行責任者: 甲藤 浩之

連絡先: 高知市地域コミュニティ推進課

(TEL 088-823-9080)